

事務事業名	県特別支援学校体育連盟参画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12126										
			所属課室	南アルプス教育推進課		課長名	秋山 光永										
	☐ 実施計画事業		所属担当	教育指導担当		担当者名	佐野 秀仁										
基本政策	基本計画体系	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目							
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	1	0	0	1	0	2	0	2	0	3	1	
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		☐ 国の制度による義務的事業			☐ 施設等維持管理事業										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)			法令根拠	☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
	☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)				☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (22年度)														
	体育の振興と障害のある児童・生徒の心身の健全発達を図り学校相互の親睦を深めるため山梨県特別支援学校スポーツ大会等の開催への参画事業。		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)														
			その他負担金 50														
			計 50														

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績	事業開催のための負担金支払い。
	23年度活動予定	前年度と同様。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	県内市町村。	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	障害のある児童・生徒がスポーツにより心身の健全発達を図り学校相互の親睦を深めるきっかけとなる大会の実施。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生涯スポーツへの取組へのきっかけとなる、上位大会への参加。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
	ア 負担金額 円
	イ
	ウ
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
	ア 市町村 市
	イ
	ウ
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
	ア 大会数 回
	イ
	ウ
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
	ア 大会数 回
	イ

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	50	50	50	50	50	50	
	事業費計 (A)			千円	50	50	50	50	50	50	0
	人件費	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	50	50	50	50	50	50	50	0
活動指標		アイウ	円	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0		
		アイウ									
		アイウ									
対象指標		アイウ	市	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		アイウ									
		アイウ									
成果指標		アイウ	回	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	
		アイウ									
		アイウ									
上位成果指標		アイウ	回	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
		アイウ									
		アイウ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	開始時期は不明。以前より山梨県特別支援学校体育連盟への参画事業が行われていた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	障害児童・生徒の増加により負担金額の増加も予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	参加学校が特別支援学校・学級という事情もあり事業財源の捻出に苦慮している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	特別支援学校・学級という事情もあり事業財源の捻出には苦慮しており、既に必要経費の見直し等行っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	上記に同じ。

事務事業名	県特別支援学校体育連盟参画事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 特別支援学校・学級体育の健全な普及発達は、障害のある児童・生徒の体力の向上につながり、生きる力を育む学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 児童・生徒の体力低下は教育的課題の一つであり、そのような中で山梨県特別支援学校体育連盟が主催するスポーツ大会の開催は、障害のある児童・生徒の体力向上を図る大切な機会であり、市として関与が必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 特別支援学校・学級の障害のある児童・生徒に体育的行事に取り組ませる必要があるので、本事業への参画は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 運営の方法に工夫を重ねながら、成果の維持を目指す。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 参画事業を休止・廃止することにより体力を向上を図る機会が縮減され影響が大きい。左に同じ。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 障害のある児童・生徒にかかわる事業であり、自主財源で行うのは難しい。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 障害のある児童・生徒にかかわる事業であり、自主財源で行うのは難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 参画事業であり、かつ特別支援学校・学級という事情もあり事業財源の捻出には苦慮しており、既に必要経費の見直し等行った状態であり、障害のある児童・生徒にかかわる事業支援である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	障害のある児童生徒にスポーツをする機会を与えるを目的とした助成なので必要と思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果水準</td><td>向上</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>維持</td><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	対象外																					
		コスト削減優先度評価結果	対象外																					